第７回人吉市立学校のあり方検討委員会会議録

日時：令和８年１０月１日（木）午後２時３０分～
会場：人吉市役所３階　３０１・３０２会議室

～　次　　第　～

１　開会

２　委員長あいさつ

３　人吉市教育委員会あいさつ

４　議事
（１）保育園・幼稚園の「保護者意見」について

（２）小学校・中学校の「保護者意見」について

（３）人吉市立「中学校」の今後の方向性についての検討

（４）その他　今後のスケジュール等

５　本日の総括（委員長）

６　その他
（１）次回開催日（予定）　令和８年１０月２２日（木）午後２時３０分～
人吉市役所３０１会議室

７　閉　会

＜　　午後２時３０分　開会　　＞

１　開会

杉本　　係長　人吉市立学校のあり方検討委員会設置条例施行規則第５条第２項により、委員の過半数の出席をいただいているため、本会は成立することを宣言します。

ただいまより、令和８年第７回人吉市立学校のあり方検討委員会を始めます。どうぞよろしくお願いします。

２　委員長あいさつ

八幡　委員長　朝晩、随分と過ごしやすくなってきましたが、台風などで雨などの被害などはありませんでしたでしょうか。本日も昼間はまだ暑い中、お集まりいただきまして感謝申し上げます。前回の会議以降、わずかひと月ほどですが、人吉市ＰＴＡ連絡協議会には非常に丁寧なアンケート調査を実施して８８０票の回答をいただいたということで、６・７月頃に実施された住民意見交換会を補って余りある資料を整理していただき、感謝申し上げます。この資料を基に、本日はよりよい人吉市の学校のあり方・将来像について検討を進めていきたいと思いますので、どうぞ忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

３　人吉市教育委員会あいさつ

志波　教育長　今日から１０月ということで、本年度もちょうど中間地点にさしかかりました。委員の皆様には本日の第７回の委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。７回目を迎えますが、毎回委員の皆様から、見識の高いそれぞれの立場からのご意見をたくさんいただき、本当に感謝申し上げます。また、先ほど委員長からもありましたが、アンケート調査については市Ｐ連・保育園連盟の皆様にお忙しい中にお力添えをいただき本当にありがとうございました。小中学校の現役の保護者の方々でさえ、学校の中身が見えづらい、敷居が高いとお話を伺うこともあります。まして園児の保護者の方々は、今の小中学校の現状を捉えるのは難しいところもある中で、１０年後、それ以降の状況を想像してアンケートに答えるのは難しい面もあったのではないかと思ったのですが、たくさんの意見をいただいて本当に感謝を申し上げます。またそういった皆様に見えづらい所をなるべく見えるようにして、今後についてより多くの皆様のご意見を賜ることができればと思っています。検討委員会の委員の皆様には、本日もいろんな視点からご意見等を賜ることができればと思っています。よろしくお願いいたします。

４　議事

杉本　　係長　それでは議事に入ります。ここからは、人吉市立学校のあり方検討委員会設置条例第３条第２項により、八幡委員長に議長を務めていただきます。議事の進行をお願いします。

八幡　委員長　議事に入ります。（１）保育園・幼稚園の「保護者意見」について、事務局から説明をお願います。

（１）保育園・幼稚園の「保護者意見」について

鵜口学教課長　≪資料Ｐ１～２より説明≫

委　　員　園からです。アンケートを実施していただき、ありがとうございました。こういった意見を共有することは非常に素晴らしいことなのでありがたかったです。保護者会長の集まりで依頼されたということで、全保護者というわけでもなく、保護者会長達がそれぞれ周りの方と話をしながら答えたのではないかと思いますが、こういった具体的な内容が出てきたのはとてもよかったと思います。３日ほど前に事務局にお邪魔して、「住民意見交換会は行われたけれども、未就学児の保護者の皆様に告知するのでもう一回行ってもらえないか」とお願いしました。具体的なところはまた後程伺いますが、アンケートと、そもそものところが聞きたい方もいらっしゃると思うので、そういった部分もお話しいただければと思います。ただ、その時に言われたのですが、今後話していく部分については答えにくいということだったので、そこははっきり言っていただいていいと思いますし、そもそものところを話していただければありがたいです。

八幡　委員長　幼稚園・保育園の小さい子をお持ちの保護者の方々にはちょっと先のことだとは思いますが、もし学校が再編されるとしたら学校をどのように再編したらいいのかという可能性をしっかりと審議していただきたいということ、学校のこれからの姿が見えたときに、スクールバスや子ども達の心のケアにも手厚く配慮していただきたいという意見が集約されており、もっともだなと思いました。

委　　員　保育園や幼稚園はまだ子どもが０歳児から６歳児で保護者の方も若い、今のことしか考えられないと思います。新しい制度の学校になるのも何年か先の話なので、今の状態での回答ではなく将来のことを見据えたアンケートを取ってもらうのが一番大事ではないかと思います。一回のアンケートではなく今後何回もですね。今のままでいいという意見が３４パーセントあるようですが、現在を見据えた回答だと思います。先々、今の子ども達が小中学校へ行く時に、時間を経てアンケートをずっと取っていくと回答が変わってきます。そういうのも大事では。

八幡　委員長　おっしゃる通り、現段階でおそらく初めてこの話を耳にされた方の回答なので、またこれからフィードバックも丁寧に行いながらより切実感も持っていただき、これからのよりよいビジョンを考えていただければと思います。

委　　員　市Ｐ連からです。このアンケートは、まずは５年後か１０年後にはこうなるだろう

というところで発信して、当然１００％に近い回答率でもないし、少ない人達からの回答なのでこれが正解ではなく、近い将来こういう風になるだろうということを知ってもらうための入りの部分かな、ということで取り組みました。全然これを見ていない人もいるし、全くわからない、先のことだし今さえよければ十分、という人がほとんどで、１０年後にこうなってくるのは間違いないけれども、まだほとんどの人は危機感も危惧もない状態だと思います。園の保護者もだし、今の小中学校もこういった問題に携わっている人は危機感があるけれども、そうでない人はほとんどがまだわからない、わからない、という回答もあるけれどもその解答すらしてない人もたくさんいます。でもこれで決めることではないし、答申が来年の２月なので、それまでに何らかの説明会や未就学児にも小中学校の保護者、子ども達、学校の先生、教育分野に関わるところにはすべて教育委員会や委員が出向いて、人数が少なくなってくるから統合しないといけないというのではなく、少なくなるけど教育方法的には、教育の質は変わらないように、それ以上のものにします、ということを丁寧に説明していかないといけないと思います。人吉を出て私立に行く、と言っている保護者がすでに何名かいるので人口流出も考えながら、今から、ことあるたびに説明していく必要がある。このアンケートはいきなりすぎたかもしれませんが、近い将来のための入りとしてはよかったと思っているし、何回か分けて、ただ答申まで時間がないので、答申で上がってしまってから、こうがよかった、と変更できるのかが心配です。答申はなかなかひっくり返らないので。それまで丁寧に皆さんに意見を聞き取ることが大事ではないかと思います。

八幡　委員長　懸念はもっともだと思いますので、このあたりの今後の進め方、まずは初期段階ですね、今回のアンケートは。ただこれから保護者の皆様も議論を重ねる中で、よりよいあり方という考えを深めていただく場も必要ということですね。

委　　員　住民説明会をするにあたって、ＷＥＢを通じて、スマホやタブレットでも説明会に参加できる、全部見られるようにすると関心が高まってきて、それを繰り返すことで周知されていき、こういう感じになるんだな、と浸透していくと思うので、手段や方法もあらゆる手段を使って発信してほしいです。

八幡　委員長　そのあたりも今後説明会をされる場合は検討していただきたいと思います。

（２）小学校・中学校の「保護者意見」について

市　　Ｐ　連　≪別紙資料より説明≫

八幡　委員長　詳しい資料を短期間で取りまとめていただいてありがとうございました。特に学校別のデータ、学校が置かれている状況によって考える内容が違うんだなと思って確認したところです。

委　　員　式次第にあるように、この後中学校の今後の方向性について検討すると思うのですが、具体的なことは答申が出された後、ということでした。今このアンケートに示されている皆さんの不安は、今日話し合うところで論点を整理していくとこの感想から

	活かすべき意見も出てくると思うのですが、そうでないと今日話し合うこととのつながる部分がどこにあるのかが見えてこないです。このアンケートも、アンケート取りました、で終わってしまう。つながる部分はどういったところになるのでしょうか。
八幡　委員長	この後、これからの子ども達の動向を踏まえてどのような学校再編のパターンがあるかという案が出ているので、今回のアンケートで出されたスクールバスや地域の拠点のこともうまく対応できるのか、ということも踏まえて、今回そこまで審議できるかはわかりませんが、これだけのアンケートを集めていただいたので、住民や保護者の皆様の不安については、学校配置の案が仮にある場合にどのように解消できるのか、という視点で議論を進めていきたいと思います。
委　　員	この後話をしながらアンケートも活用していくということですね。わかりました。
委　　員	全体的な傾向としては再編を望む層が案Ａ、Ｂ合わせて７０％以上の数字が出ており、何らかの形で再編したいという意見が多いので、市が合併と決めたら前向きに進めることについては賛成と捉えていいのではと思うし、今後はスクールバスなどの中身に取り組み、説明するように進めていったらいいのでは思います。
委　　員	今お話があったようにキックオフ、最初にとったアンケートなので皆様の理解が進んだうえでの数字ではないということも考慮すると、今後この数字が変わってくることも十分あると思います。
八幡　委員長	アンケートを取る場合に一番心配なのは、全体の中で数が少ない、母数の小さい小学校の状況がわかりづらく、意見がでにくいところをどうまとめるかということです。今回は学校ごとに結果を出していただいて、大畑小学校と第三中学校に関してはほぼ再編の意見が多いように感じられました。これが見えるようになったのはいい意味でも悪い意味でも、どう取ったらいいのかということに関しては慎重に扱っていく必要はあると思いますが、これが見えるようになったのはありがたいと思います。
委　　員	このアンケート自体が現状を把握してもらうための問題提起だと思っています。保護者の皆様は、少なくとも私の周りの方々は初めて知った、今後どうなっていくんだろう、じゃあ大畑小も三中もなくなるかもしれない、けれど存続させても本当に小さなコミュニティの学校にしかならない、今後は全校生徒が１０人になるかもしれない、というところで考えたときに、選択肢としては統合という話も聞こえる、待ったなしの状態だと思っています。ただ、統合はいいけれどもいきなり大きいところとくっつく、例えば大畑小学校が東間小と一緒になる、では通学はどうするのか等、いろいろな問題が想起されます。そういったところを考えると、詳細を出してほしいという保護者がいるのは当然の結果だと思います。こういう時はこうなる、例えば三中と大畑小がくっついた場合は小中一貫校か義務教育学校かを選択する、その選択肢を示す、ならば通学は変わらないよね、けれども東間小や一中と一緒になるなら通学はどうなるのか、保護者が送迎するのか、交通安全は、といったところを結構聞かれるんですね。そういったところも示していくのであれば、また２回目、３回目のアンケートを取っていくしかない。けれどもこの場はそういったことを決める場所ではないと

	思うので、どっちにしますか、という選択肢がたくさんある答申を出してもいいのではと個人的には思っています。このアンケートを取る上で保護者の方々からたくさんの質問をもらいました。わからない、本当にわからないと言われました。
委　　員	このアンケートを見て、大畑小、三中の皆さんは危機感を持たれた。あとの学校は例えば１０年、２０年先の話、自分の子どもには全く関係ない、まだうちの学校は大丈夫、という感覚で危機感が全くないと感じます。あとは、市民の方にもう少し話していかなければいけない。説明会がありましたが、アンケート結果の話を市民に訴えていかないと、市民を巻き込んでいかないと答申が答申でなくなる感じがします。そこは教育委員会でも考えていただいて、もう残りの期間もあまりないので、市民の方にわかってもらう手立てを打たないといけないと感じました。
八幡　委員長	昨年度はニュースという形でまとめていただき、前回もですが、今回もこうしていただいた提案について、市民、住民の皆様へのＰＲ、情報開示については何か取組として事務局で考えていらっしゃることはありますか。
鵜口学教課長	今年度に入ってからの検討委員会は、会議の資料と議事録を全てホームページ上で公開しています。
八幡　委員長	議事録という形での公開だと見る方は限られますよね。何か他の、そこのところですかね。
委　　員	それを誰が見ているかという話です。説明責任のこともあるし、何らかの形で市民に出さないといけないと思います。例えば広報の１ページでもいいと思います。ＷＥＢで出しました、では弱いのではと感じます。
八幡　委員長	住民の皆様への情報発信の仕方も検討していただければと思います。
委　　員	アンケートには保護者として私も回答したのですが、結果をフィードバックするということも必要だと思います。保護者も回答しっぱなしではなく、私もこの結果を見て「そうなんだ」と思ったのですが、回答した保護者にも結果を公表して、自分の意見はこうだけど、大畑小・三中の保護者達はこう思っているんだと、何回もアンケートを取るたびに、フィードバックしていってほしいです。
委　　員	現在アンケート結果の公表を準備中です。これをＰＤＦにしてＬＩＮＥスクールにでも、皆さんに送れる状況にできればと思っています。
委　　員	市Ｐ連に質問です。第２弾のアンケートは計画されていますか。
委　　員	設問の内容を詰めていくと、アンケートに回答された方が、こういう風に決まってこういう道筋で行くのかなと言われると、答申にも影響しますよね。そういう形になってくるので、どうした方がいいのでしょうか。
委　　員	このアンケートがスタートだということであれば、さっきフィードバックという話もありましたが、回答しなかった人も「こういう回答が出てこう思っている人がいるんだ」ということを知ることで次のステップに進む可能性はある。しかしデータの数、回答率が高くないと信憑性も上がらないし判断しにくいと思います。このデータでこういう方向性があるなと信じてしまうと危ないので、どんどんデータをフィード

バックしていって、回答数のデータを拡張させていく必要があると思う。例えば三中・大畑校区だと危機感があるのでこういったアンケートが出てきたときには回答率も高い。どうにか地域に学校を残そうとなった時に義務教育学校やいろんな方法を取りながらでも、地域に学校があった方がいいという意見のパーセンテージも見えてくる。これからの人吉市の人口減を考えると、すべての地域でそういう意識になってきたら学校も変わってくる、そうなったときにどんなスタイルが望ましいのかというのを回答してもらえる、母数がどんどん増えていかないと今のデータからでは判断するのは難しいと思います。ぜひこれから先こういうふうにしていくんだということを事務局にも考えていただきたいです。そして市Ｐ連と協力しながら、どういうアンケートに変化させていこうか、という部分があったらいいなと思いました。他地区のことをこの場でいうのはよくないけれども、他地区でも学校が現時点で少なくなってきている、子どもの数が目に見えて減っているので、いろんな自治体が学校のあり方について検討しているという話題が新聞にも載ってくる。それを読むと地域住民の方とも密接で、学校がこうなっているという現状が分かった上で話が進んでいるようで、人吉より関心の度合いは高いのでは。言われたように、大畑・三中校区以外はあんまり関心がないなということでは始まらない。答申をお願いされたということは学校のこれからのことを、人吉市の１０年後を考えなければいけない、ということですよね。アンケートに回答してもらって結果を返していかないと内容はわからない、そのような形で数回、深みのあるアンケートを実施してほしいです。事務局から要望があれば調整して、どのような内容にしたら意味があるかと意見交換しながらですね。

委　　員　　市Ｐ連としては、アンケートをするのはいいですが、レスポンスがかなり悪くなっています。実際、アンケートします、この内容で検討委員会で諮ってください、人吉市ＰＴＡの会議でアンケートへの協力をお願いする、保育園にも協力してください、協力のＯＫが出たら依頼する。終わったら集約して返すにもまたご協力をお願いしていいですか、ということをしないといけないと私は思っています。勝手にやっていいならやる分にはいいのですが、ただ私としてはあくまでも事務局の仕事ではないかと思っていて、この場で決裁が出て、人吉市の小学校、中学校、保育園、幼稚園、こども園、一般市民にもやろうという話にもなればすごくありがたいと思っています。

八幡　委員長　　こうしたアンケート結果も頭に置いていただきながら、本日はこの後、人吉市立中学校の今後の方向性についてということで、事務局から資料を準備していただいているので、こちらの説明をお願いいしたいと思います。

（３）人吉市立「中学校」の今後の方向性についての検討

新宮　審議員　　≪資料Ｐ３～７より説明≫

＜資料Ｐ６～７より（文は概要分を抜粋）＞

〇考えられる再編・再統合のパターン

パターンＡ：【現状維持＋小規模校の活性化策】

・現在の学校配置を維持したまま、単学級・小規模校のデメリットを補うための教育施策を導入する。３つの中学校を残したまま、教育工夫でカバーする方向性。

パターンＢ：【段階的統合・適正化】

・小規模校である（今後も小規模の解消が見込めない）第三中学校を、第一中学校または第二中学校のいずれかに統合する方向性。

パターンＣ：【学校統合】

・３つの中学校を１つに統合し、一定の生徒数を確保した新たな中学校を運営（既存校舎を活用）する方向性。

パターンＤ：【全面再編・新設】

・３つの中学校を対等統合し、最新設備を備えた１つの新設中学校を設置する方向性。

八幡　委員長　質問です。パターンＣとパターンＤの違いですが、人吉市の中学校の校舎が老朽化しているので新しい校舎をという話もあったと思うのですが、パターンＣは既存校舎を活用とあります。今の校舎に子ども達を集める、というイメージでしょうか。

新宮　審議員　まずはそこを目指す、今あるものを活用する場合はですね。そういう形も一つ考えられるのではないかということです。

八幡　委員長　ゆくゆくは校舎も古くなってくるので、ということですね。すみません、少し不躾な質問になるかもしれませんが、人吉市の財政規模として、パターンＤ「全面再編・新設」をいきなり選択することは財政上可能なのでしょうか。

鵜口学教課長　学校の施設を新築、増築するとなると、国が半分は出してくれるんですね。残り半分を市がどうにかすることになります。

委　　員　Ｄの案を推したいのですが、今カルチャーパレスを解体して作り直す話が出ています。別の会でも説明があったのですが、元々あの場所には第二中学校がありました。パターンＣではいずれ作り変えないといけなくなるし、初めから国の助成をもらって新しい校舎を建設すべきではないか。中学校は１０年先、２０年先、いつか一つにまとめなければならない時が来ると思います。データ的にも、小規模のところは危機感があると思いますが、先々、なんであの時しなかったんだ、と保護者や市民の方々に今の委員が責められることになると思います。中学校はこういう形で進めるべきだと思います。場所の選択から考えて、今スポーツパレスが建て替えに踏み切ったのでですね。そういうところで根本的な考え方をしていくのはどうだろうかと思います。

田中　　部長　今委員がおっしゃったのは、スポーツパレスではなく、カルチャーパレスの建て替えです。市としても様々な行政課題があるのですが、今回学校のあり方でそういった話になっていく場合には、一つ一つを整理するよりもいろんな施設を統合・集約して

使える、ということを考えながらやらなければいけないと思っています。なので委員の意見も選択肢の一つとして、財政的なことも含めると、人吉市ではスポーツパレスやカルチャーパレス、市民プールがある一帯を文化・スポーツゾーンとしてゾーニングしているので、そういったことも考えながら進めていく必要はあると思います。

委　　員　私も同じ意見です。Ｄだったら本当にわくわくします。もしＤだったらどうなるんだろう、と保護者もすごく前向きに考えられると思うし、人吉の活性化への道の一つになると思います。バスなどのコミュニティに関してもバス会社も潤うだろうし、今あるいろんな施設を有効活用したらどうかなと今話しているのですが、わくわくする企画なので、私はやるならＤだと思っています。

委　　員　私もＤだと思うのですが、部長がおっしゃったように、今の文化的ゾーンのカルチャーパレスが建て替えとなるとかさ上げしないと、もし水害が起きた時は大変だと思います。令和２年の水害時にはかなりの数の車が水に浸かりました。建ててもまたそうなってはいけないので考慮が必要だと思います。高台に作らないと何十年後にはまた水害が起こって浸かる可能性はあるので、場所の選定は慎重にしていただきたいです。建て替えは賛成です。私もパターンＤを推します。

委　　員　私の意見としては、球磨川を中心に南側に中学校一つ、北側に中学校を一つずつで２校、各中学校に小学校を東と西に一つずつで小学校は４つ、川を中心に。昔からありましたけれども、ライバルの小学校があって、あそこには絶対に負けてはいかんというような話を子どもの時に聞いていましたが、球磨川を中心に南北に中学校一つずつ、それぞれに小学校が２校ずつ。漠然とした話ですけれども、そのレイアウトで考えて、あとは具体的な場所を検討したらいいのではないか。ちょっと具体性はないかもしれないけれども夢のある話として。中学校２校、小学校４校。

八幡　委員長　中学校２校案ですね。

委　　員　この間まで出ていた義務教育学校の場合は中学校と小学校という感じでしたが、今回は中学校のみの話です。義務教育学校と小中一貫の話はまったくここにはないので、疑問がたくさんあるのですが、いかがでしょうか。

八幡　委員長　この４パターンをお示しいただいた意図、といいますか。

新宮　審議員　先ほど最後にお話ししたように、前回までの検討内容を含めての話です。

委　　員　これを見て、私はそれぞれにどうなるのかをシュミレーションして応えればいいのか、今話していることが答申に盛り込まれることを前提に話せばいいのか。

八幡　委員長　ゆくゆくは答申に記載する内容に向かって、私達は議論しています。

委　　員　それはわかるのですが、であるならば、この４案から選ぶ、それが答申の内容になると理解していいのかというところです。

八幡　委員長　今お話しがありましたが、次回は小学校の検討になると思います。場合によってはその時に小中一貫校、義務教育学校をどうするという話になるのかなと私は受け止めているのですが。

委　　員　次回、義務教育学校の話が出てきたら今日の話と切り離してまた話す、ということ

	になるのですか。
八幡　委員長	切り離す、というか可能であれば今回の話を踏まえて、例えば今２校という話がありましたので、２校ということであれば２つの一貫校なり義務教育学校なり、という話もありえる、ということだと思います。
委　　員	義務教育学校を前提に中学校の話を考えてください、そちらも考えてください、ということですね。
八幡　委員長	それも視野にいれながら、というところですね。
委　　員	それも視野に入れてこのことを話してください、そうじゃない場合とそういう場合と両方視野に入れて考えるということですね。わかりました。
委　　員	中学校２校はどうか、とおっしゃいましたが、先々の中学校の人数を見た感じでは中学校を１校にして、小学校が川北、川南に１校ずつかな。答申を上げるのに何パターンかあげていいのであれば、さっき委員が言った話も盛り込めるのかなと。このパターンだったらというのを一本ではなく、何パターンかをこの会議で上げられるのなら意味はあると思います。
八幡　委員長	私も前回の小中一貫校、義務教育学校の話でもパターンが出てきたんですけれども、一貫と考えるのであればそれまで、昨年度の議論では中学校は１つにしましょうという話が出ていましたが、そのパターンが示されるのであれば、あるいはそういった選択肢も視野に入ってくるのかなと前回話を聞いていたのですが、そのあたりも意見をいただければ、次回も含めて議論が進むかと思います。
委　　員	私は４つの案、どれでもいいと思っているのですが、財政的に一番厳しいのはどれでしょうか。
田中　　部長	ハードで作るというのはどうにかできると思いますが、ランニングコストを考えていくと、人数の関係から考えたら１校の方がいいのかなというのはあります。パターンＤの全面再編・新設の話にもありましたが、実際どの規模で作るかにもよりますし、それぞれ予算はかかると思いますが、そのような答申が教育委員会や市として出された場合はそれに向けて努力するのは当たり前だと思います。ですがそうするにも時間はかかるので、Ｃパターンで既存の校舎を活用しながら場所を選定する方法もあるのかなというところだと思います。
委　　員	答申が来年２月、それまでにこの話を決めないといけない。一つしか出せないのか、何パターンか出していいのか。どれかに決めないといけないんですよね。
鵜口学教課長	極端な話、そこが決まらないのであれば、例えばこのあり方検討委員会の答申は「統合すべき」で終わってもいいです。何校にした方がいい、までいかないのであれば、中学校は一つにした方がいい、近い将来に統合する、でもいいです。そのあとは教育委員会と市長がその方向性を決めていく。
委　　員	これは決まらないですよね。毎回これで終わってしまう、２時間。
委　　員	質問です。そもそも会の初めに市長から求められた諮問の内容はどんなだったでしょうか。

八幡　委員長　諮問の審議事項としては３つあり、１つ目が人吉市立学校の統廃合に関すること、２つ目は人吉市立学校のあり方に関すること、３つ目がその他、人吉市教育委員会が必要と認めることとなっています。諮問理由の概略、キーワードを拾うと、これからの魅力ある学校づくりや学びを保障するための学校体制の整備ということが書かれていると思います。

委　　員　この内容を盛り込んだ、そこにも触れた答申が出れば一番いいということですね。

八幡　委員長　これからの人吉市の子ども達にとってどういう学校が魅力的で、そのためには学校の規模が小さいよりは一定の規模の学校で教育の活性化を図るとか。

委　　員　とにかく問われていることが広すぎて、どう答えたらいいのか迷っている、というのが正直なところです。

委　　員　前回は義務教育学校や小中一貫校のことが話題に出て、それを協議する理由について「いろんなことを知ったうえでみんなで方向性を出しましょうということです」と事務局は答えていました。そして今回は中学校についてこだわって考える、と。あと５、６年後ぐらいまでは２校でも適正規模を維持できるけれど、令和２０年まで、これから１０年先のことを考えると、資料にあったように２校でも難しいから考えなおさないといけない時がすぐ来ますよ、ということが今日の資料に書いてあったように思います。１０年先を考えて適正規模を維持していくのならば１校ということになるのではないか、今日の中学校の話題の理由についてはですね。前回の義務教育学校や小中一貫校については、例えばこの前も話題になったけれども、義務教育学校になると小学校と中学校との規模で考えて作っていかなければならないから、中学校が一つになるという時に難しいだろうなと。そうなると小中一貫校の方がいいのではないかと自分で考えながら終わったところです。それで、次回どんな話題を事務局で準備しながら答申に向けて、人吉の学校の１０年後のあり方を考えて、こういう方向性でやりましょうという答申を出すための資料を次に出してもらって、さらに先ほどのアンケートを見つめていくときに、私の手から外れていってもいいよね、という部分の宿題を出されたから、それをどう考えていかないといけないのか、フィードバックはするという話ですが、あまり時間もないので、それから先の方向性も次回は提示してほしいです。今日はそのための一つの材料だったと私は理解しています。アンケート結果と中学校についての議論ですね。

あと、校舎の老朽化も考えないといけない。もう建て直す時に来ているので。ひょっとしたらまだ修繕しながら使える学校もあると思いますが、例えば一中はまだいけるけど二中は厳しい、という具体的なものを提案していただくと、場所を含めた中学校は一つ、または義務教育学校かの結論を答申として入れられると思います。全部壊さないといけないなら一つがいいなど、そういうことも含めて提案してもらうとまた話が進むと思います。

八幡　委員長　これは皆様が思われていることだと思いますが、とにかく子ども達に新しくてそれなりに整備された環境を準備してあげたい、という気持ちだろうと思います。そのた

めに今これからの子ども達の動向を見据えてどういう学校のあり方がいいのかを議論していただいている、というところは間違いないと思います。つい２日前ですが、熊本市も小中一貫教育を謳っているところがいくつも出てきており、中学校１校に対して小学校は複数、というパターンも出ているようです。なので、中学校１校で小中一貫の中にある小学校複数、というパターンもあるのかもしれません。義務教育学校は小中一つずつというイメージですが、複数の小学校、それぞれ小学校は校区があり中学校になって一緒になると、例えば人吉市で１校の中学校になったらそれぞれの川の南と北、地域の特性を踏まえて、人吉市全体を視野に入れて地域のことを学ぶ次の世代の担い手が育つという小中の教育体系というのも今は出てきているようなので、そういう考え方もあるのかもしれないと思ったところです。

委　　員　　このまま議論しても次の会議の資料にもならないので、今日は中学校のことを考える場ということで私は１校でいいのではと思うのですが、後からまた建て替えようとなったらさらに金額も大きくなる可能性があるし、国の助成金もあるということで新築という路線で話をして、次回は小学校とのつながりを話し合っていくしかないのでは。私は新築１校でいいと思います。自分達の孫のことを考えるとそう思います。

八幡　委員長　　そうなるとパターンＤとなると思いますが、三中校区はいかがですか。

委　　員　　予算のことを考える必要があるのかがわかりません。考える必要がないのであれば、各地区に新しく建ててくださいという無茶な話になると思います。新築の学校は魅力があると思います。現行通りに３校の中学校を続けていく場合と１校にした場合では当然人件費が変わるし規模に合った施設を運営するとランニングコストも適正になると思うので、そこは予算の差が出てくると思います。そのままではなく少し上乗せして、より魅力ある学校づくりをしていくと子ども達にとってはプラスになると思うのですが、予算の話がないと新しい学校１校がいいのか、現行がいいのか、明らかに予算の差があるのかどうか。予算は考えなくていいんですか、答える時にもそれがわかりません。

委　　員　　でも今、市も頑張ります、と。

八幡　委員長　　予算のことを考えてこぢんまりとまとまるより、私達はこれからの教育のあり方の方を優先するべきではないかと思います。

委　　員　　もう一度繰り返します。人間関係でも複数人いないと向上心や勝ってやろうという気持ちが育たない、一人しかいなければそれだけで固定化されてしまう、人間の心理です。そう考えると中学校も２校あった方が切磋琢磨しやすいと思います。一方的な結論になりそうだったのであえて言っておきます。

八幡　委員長　　今の意見はパターンＢに近いと思うのですが、次回小学校のことを検討することになっているので、そのあたりとの兼ね合いで複数校のあり方もどうすべきかを検討したいと思っているので、付帯事項としてＢパターンも視野に入れながらという形で本日は納めさせていただいてよろしいでしょうか。

　あと、先ほど三中の話をしましたが、パターンＤ、いかがでしょうか。

委　　員　　将来的には全面再編・新設が理想だと思いますが、通過地点としてパターンＢからパターンＣへの段階的統合も盛り込んでもらうと、いきなり集めるよりもちょっとずつの方が皆さんも受け入れやすいのでは。

八幡　委員長　　新しい立派な校舎を整備することになれば遠くなっても教育環境としてはいいものができる、とも思います。

委　　員　　そこは後々考えていただければ。

委　　員　　本日の資料で、令和２０年度の第三中学校の人数が９名と出ています。中学校は隣り合った学年が８名以下になったら複式学級になります。今第三中学校はクラス数が１、１、１なので、一人の先生で２教科ずつぐらい授業しておられると思いますが、複式学級ができると教員の数がさらに減ります。ほぼ免許外、つまり体育、音楽、美術、家庭科も免許外の先生が教えるという状況が生まれ、いわゆる教育の質の低下が起こります。おそらく令和１９年度、１０年後には複式学級が発生するのではと思います。３学年でこの数なので、１０年後も今のままだと三中は複式学級の発生が起こりうるので、急がなくてはいけない部分もあると思います。

新宮　審議員　　今の件ですが、令和１９年度は１年生が２名、２年生が５人、３年生が３人になり、隣り合っている学年でいうと４人以下にならないので１９年度は複式にはならないのですが、２０年度は１年生が２人、２年生が２人となるので複式学級になります。私も中学校の複式学級の担任の経験があるのですが、その時は２年生が１人で１年生が３人でした。私は数学の教員ですが免許外で体育を教え、全部の先生が複数教科を教える状況だったので、その点では非常に大変な思いをしたのは事実です。

委　　員　　急がなければ、本当に迫っている状態だと思うので、最終的にはＤで新しく建てていただくというところにして、そこまでの期間を過ごす子ども達のために早めにＢにして、ゆくゆくはＤにするというパターンがいいのかなと感じました。

八幡　委員長　　新しい中学校を建設するまでの途中過程をどうするか、ということに関しては、できるだけ子ども達の状況を考慮した方法で検討していただけると思います。

　ということで、本日の結論として中学校の今後の方向性としてはパターンＤ「全面再編・新設」、付帯事項としてパターンＢ「段階的統合・適正化」ということで話がまとまった、ということでよろしいでしょうか。

（４）その他　今後のスケジュール等

鵜口学教課長　　≪資料Ｐ８より説明≫

委　　員　　結局、Ｄを目指すということですよね。Ｄを目指してすぐＤになればいいけれども建設するにも時間がかかるので、例えば三中で複式学級になる、間に合わないということであればＢ案も過渡的に使いながらＤ案を進めるということでしょうか。

鵜口学教課長　　中学校の令和２０年までの生徒数の見込みが載った資料をお配りしてますが、例えば皆様の意見としては、おおむね何年後までにした方がいいと思いますか。

委　　員　　現在三中は、小学校でも１学年、３学年に兄弟がいるという家庭が多いです。そう

した場合、中学校に行く度合いがどれほどなのか。というのが、ある家庭の話を聞いたのですが、中学校になったら他地域の学校に通わせる予定である、と。ものすごく厳しい意見でした。そういう家庭もあります。

委　　員　　ありますね。中学校は八代に、などですね。

委　　員　　そういう家庭が実際多いです。それを踏まえると、あと１、２年でやらないと学校自体が本当に厳しい状態になる。特に三中はそういう状態に陥ります。なので相当覚悟を決めて答申を出さないといけない。三中のＰＴＡや大畑小の保護者は本当に危機感を持っています。そのことも教育委員会にも認識してもらい、学校教育を受けさせるために転校する家庭があるという現実を知ってほしい。

八幡　委員長　　できるだけ早急に、という意見だと思いますが、最も早急に一つの新しい中学校を建てる場合、どれくらい早く対応いただけるのでしょうか。

鵜口学教課長　　補助金の申請だけでも１年はかかると思います。

八幡　委員長　　なるべく早急に、ということでしょうかね。

委　　員　　これからいろいろ決まっていくと思うのですが、住民意見交換会は行われたものの参加は少なかったので、広報に乗せたり、市民全体にもう一度発信して一人残らず知っていただかないと、後から文句言われたり、この委員会だけで決めた、初めから決まっていたんだろう、と言われると思います。もう一度周知をお願いしたいと思います。

八幡　委員長　　こちらの２月上旬の答申までのスケジュールといいますか、ある程度のパターン、原案、そういったことを踏まえて、学校現場や保護者の方への説明会が必要かもしれないので、ぜひそういったスケジュールも２月上旬までにどこまで間に合わせられるか、次回ご提案いただけるとありがたいです。

５　本日の総括（委員長）

６　その他

（１）次回開催日（予定）　令和８年１０月２２日（木）午後２時３０分～
人吉市役所３０１会議室

７　閉　会

杉本　　係長　　それでは、これをもちまして令和８年第７回人吉市立学校のあり方検討委員会を終了いたします。本日はご参加ありがとうございました。

＜　　午後４時２７分　　閉会　　＞